

# つばさ教室



## つばさ教室の目的

障害のあるお子さんに対しては、支援が早期であればあるほど、その効果が高いことが実証されています。この教室では、発達障害もしくは発達障害が疑われる就学前（3歳以上）のお子さんを対象に、小集団の療育とその保護者を対象に保護者支援を行っています。

つばさ教室は、福島大学の特別支援教育に興味のある学生の学習の場にもなっています。

つばさ教室は、医療機関ではないため、診断や心理検査等は実施しません。



## 実施の形態

対象児	就学前（3歳以上）発達障害もしくは発達障害が疑われる幼児
募集人数	6名程度
支援内容	<b>☆お子さんへの支援</b> ：小集団活動を通して、対人関係、コミュニケーション能力、手先の微細運動等の支援 <b>☆保護者への支援</b> ：講義や療育相談、就学相談、研修会や講演会の情報提供
期間	1年間（5月～7月 10月～12月） 月2回～3回 水曜日 14時00分～15時30分
費用	おやつ代や教材費として1回500円の実費を頂きます



## 予約から療育の流れ

- ① メールで「初回療育相談」の予約
- ② **初回療育相談** ⇒ **予約制**  
ガイダンス、教室についての説明、参加の意思を確認後、必要書類一式配布  
お子さんと一緒に来校していただきインテーク（お子さんの様子の観察、ご両親の希望の聞き取りなど）
- ③ 療育開始
- ④ 1年後に振り返り(再アセスメント)と再契約（年少、年中クラスの場合）



## つばさ教室 幼児教室内容

毎年子どもの実態に合わせてプログラムを作成し、活動の順番等を検討しています。小集団活動と1対1の個別指導、両方を行っています。平成26年度の活動内容を例として紹介します。

### 幼児教室活動

- 自由遊び又は設定遊び
- 小集団活動（例：手遊び、ダンス等）
- 小集団活動（例：運動、ゲーム等）
- 個別指導（1対1の机上課題）
- おやつ
- 小集団活動（例：クイズ 絵本 紙芝居等）



## つばさ教室 保護者教室内容

保護者教室の主な内容は講話や療育相談、就学相談、研修会の情報提供等です。必要に応じて個別相談も行っています。保護者の皆さんが何でも話し合えて、ホッとできる場づくりを進めています。

平成26年度の保護者教室の内容を例として紹介します。

### 保護者教室活動内容

- ・ つばさ教室参観の視点について
- ・ 就学指導と就学サポートシートについて
- ・ 手先の不器用さの疑似体験
- ・ 個別の教育支援計画について
- ・ 感覚統合について
- ・ 子どもの気になる行動と対応について
- ・ 日頃の子どもへのかかわりについて
- ・ 研修会参加の情報提供



## プライバシー保護

守秘義務を守り、プライバシーの保護を徹底します。

※ 学生や院生の実習の場でもあり、活動の経過などを卒業論文や修士論文に書かせていただくことがあります。あらかじめご了解のうえ療育の申し込みをしてください。

※ 卒業論文は外部に公表されません。名前はイニシャルかA児といった記載とし、本質的でない部分は改変するなどして匿名性が確保されるよう記載に配慮します。ご本人や保護者のプライバシーが外部にもれる心配はありません。



## 関係機関との連携

必要に応じて、幼児が在籍している保育園、保育所、幼稚園等を訪問し、連携を図りながら支援に取り組みます。



## お問い合わせ・予約申込先

[j-takahashi@educ.fukushima-u.ac.jp](mailto:j-takahashi@educ.fukushima-u.ac.jp) 電話:024(548)8171(高橋研究室) 9時~17時

(なるべくメールでのご連絡をお願いいたします)